

経済散歩

江上 剛

「熊さん、随分怒っているね」と隠居さん。

「定期預金の満期が来たんですが、利息でたばこの一箱も買えないんですせ」と熊さんが憤慨する。

「ゼロ金利が続いているからね」

「うちの女房がいい運用の知恵を得たいと思って、銀行の投資相談セミナーに申し込んだら、もういっぱいです

せ。どうしてこんなに熱心になってしまったのでしょうか」

こまめに情報の収集を

「当然のことだけど銀行の預金金利が低いこと、次に高

齢化と雇用の変化も原因じゃないかな」

「どういふことか？」
「高齢化になれば、働いて所得を増やすことが難しくなる。だから現在の資産を少しでも不労所得、すなわち金利で増やそうとする人が増え

ず人件費を減らそうとして正社員よりパートや派遣社員を増やしている。社員でも年功序列では給与を上げない。すると給与の目減りを少しでも

「そういう時代だね。各社が配当を増やす傾向にあるから、長期で保有するつもりなら定期預金より利回りがよくなる株も多いからね」

「でも私は株なんかより元金保証の定期預金がよいですよ。せめて利息で家族とレストランで夕食くらいはできませんかね」

「夕食ができるかどうかはわからないが、定期預金の

会社経営者で音楽家の宮城さん

ブラームスの故地で指揮

来月17日 交響曲第2番中心に

港区で会社を経営しつつ、50歳過ぎから指揮を学び、音楽家としても活躍する宮城敬雄さん(61)。6月にオーストリアに渡り、敬愛するブラームスが交響曲第2番を作曲した南部の保養地を訪ね、17日には、近くの古都クラゲンフルトで交響曲第2番を中心とした念願の「オール・ブラームス・プログラム」に挑むことになった。「ブラームスをこよなく愛する人たちの前で演奏できるのは、この上ない幸せ」。思いの丈を振り絞り、タクトを振る。

宮城さんはサラリーマン生活を経て、経営難にあった父親の会社を継いだ。40代の初めごろから昼夜の区別なく奔走、ハウスウエディングやヨーロッパ雑貨を扱う会社として建て直して成功した経歴を持つ。

ベルリンなど世界の第一線で活躍する演奏家らと共演、モーツァルトを披露している。

「(会社経営者という)仕事と指揮。共通するのは、一つの目標・夢に向かってみんなを引っ張り、一緒に一つの作品を作り上げていくことですね」



練習では、「自分は指揮者だ」という強い態度を絶対、示さない。「楽団員と音楽の喜び、美しい音をタクトに込める宮城敬雄さん」撮影・酒寄克夫氏

国交省の今年度景観大賞「美しいみ優秀賞」に、同大学通り沿道地区Ⅱが選ばれた。行間の手によるまちの整備、保全が評された。

「さ共感し合うことが一番大切」と話す。そうした姿勢がオーケストラに愛され、繰り返し指揮に招かれるという結果につながっている。

演奏会前には、ブラームスが交響曲第2番を作曲したことで知られる保養地・ペルチャッハに立ち寄る。このペルチャッハには、特別の思いがあるからだ。

国交省の都市景観大賞 国立・大学通り沿道に優秀賞

国立市の大学通地区は、JR国立から約1.3km南の主要道路沿いの杉の地区で、一橋商店、住宅が立ち並